

## 三鷹市立図書館ロゴマークについて

三鷹市立図書館では、平成 26 年に開館 50 周年を迎えたことを記念してロゴマークを制定し、市民の皆様が市立図書館に対してより良いイメージを持ち、親しみや関心を感じることができるよう、さらなる取り組みを進めていくこととしました。ロゴマークの作成に当たっては、シンボルマークを一般公募により選定し、武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科との共同プロジェクトによって、ロゴタイプ（文字）を作成しました。

### 【デザインコンセプト】

三鷹には昭和の初め頃から三木露風、山本有三、武者小路実篤などの文人たちが移り住むようになり、現在に至るまで、数多くの作家や歌人がこの地に暮らし、作品を執筆し、三鷹の風景を作中に描いています。三鷹市立図書館のロゴは、そうした文学の香り高いまち三鷹という特質と、読書の楽しみを伝える図書館らしさを表現しています。ロゴタイプは、三鷹ととくに深いかわりがあり、今なお多くの読者を惹きつけてやまない作家・太宰治の直筆原稿から拾い集めた文字を基にデザイン制作した書体で「文学のまち・三鷹」を表し、鳥と空と本を題材とするシンボルマークによって想像と知の世界にいざなう読書のイメージを表しました。

### 【カラーコンセプト】

デザインコンセプトと、少しレトロな懐かしい雰囲気伝えるため、人々に愛され、長く読み継がれてきた古い本をイメージした色味にしました。少し丸みのある文字の親しみやすい印象にも合う色合いとなっています。

### 【作成方法】

#### ◇ロゴタイプ

太宰治の直筆原稿（※）から「三鷹」「市」「立」などの文字をいくつも拾い出し、多くの同じ文字を重ね合わせることで筆跡の骨格となる線を浮き出させました。こうして抽出した骨格の線を基に、手書き文字の角が丸く隙間のある親しみやすい形のイメージを保ちつつ、少し太さを持たせて書体を整え、これらを組み合わせて作成しました。また、直筆原稿では旧字体で表記されている「図書館」の「圖」については、他の文字を参考に新字体の「図」を作成しています。

※『太宰治 直筆原稿集 DVD 版 第一巻～第三巻』（日本近代文学館編集、雄松堂書店製作販売 2014）を使用しました。

◆デザイン発案・作成：武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科 2 年（当時） 大國綾子さんを中心とした学生による作成グループ

#### ◇シンボルマーク

シンボルマークは、三鷹市立図書館シンボルマーク募集要項に基づき一般公募し、応募作品総数 152 点から、選考委員会（委員長：新島実教授〈武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科〉）による厳正な審査を経て決定しました。

◆採用デザイン作成：石口朋子さん（三鷹市下連雀在住）